

九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和7年11月分：速報)

<対世界>

○輸出総額:1兆436億円(伸率: +1.3%) ⇒ 3か月ぶりのプラス

・順位:16位、11月としては2位

【順位は、昭和54(1979)年1月以降(563か月、11月は47か月)による。以下同じ。】

・増加品目:船舶(同+49.8%)、半導体等電子部品(同+10.5%)

○輸入総額:7,846億円(伸率: ▲3.6%) ⇒ 3か月連続のマイナス

・順位:56位、11月としては6位

・減少品目:金属鉱及びくず(同▲40.4%)、半導体等製造装置(同▲84.4%)

○差引額:2,590億円(伸率: +19.9%) ⇒ 10か月連続の輸出超過

・順位:6位、11月としては1位

為替レート: 2025年11月:153.17円/ドル(2024年11月:152.83円/ドルと比べ0.2%の円安)

<品目別動向>

○輸出

船舶(323億円→484億円、伸率: +49.8%)は、パナマ(153億円→282億円、同+83.6%)及びマーシャル(76億円→143億円、同+88.3%)向けが増加し、2か月連続のプラスとなった。

また、半導体等電子部品(1,469億円→1,623億円、同+10.5%)は、ベトナム(162億円→321億円、同+98.0%)及び香港(556億円→591億円、同+6.4%)向けが増加し、5か月連続のプラスとなった。

一方、自動車(2,973億円→2,631億円、同▲11.5%)は、中東(746億円→277億円、同▲62.8%)及びカナダ(120億円→51億円、同▲57.1%)向けが減少し、8か月連続のマイナスとなった。

○輸入

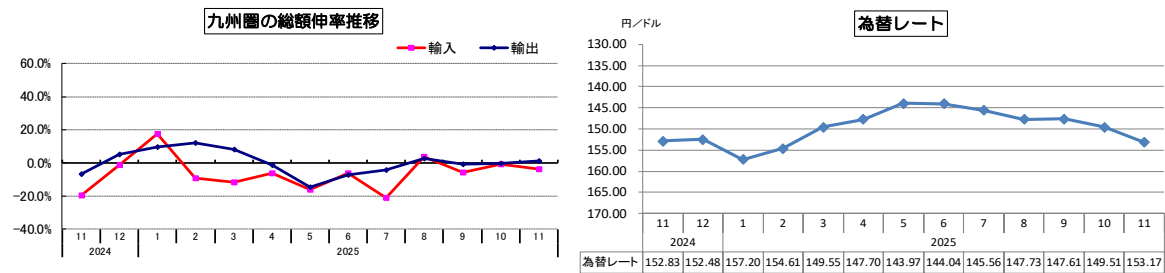
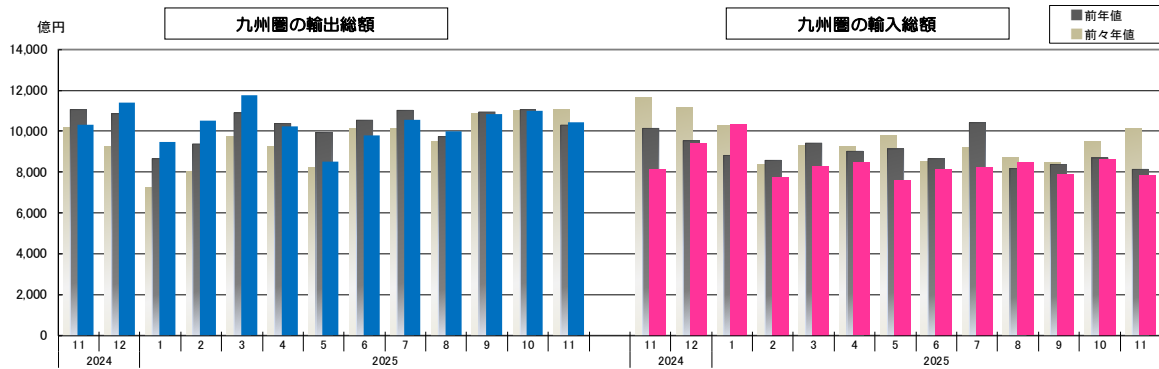
金属鉱及びくず(1,093億円→651億円、伸率: ▲40.4%)は、銅鉱(669億円→261億円、同▲60.9%)が減少し、3か月連続のマイナスとなった。

また、半導体等製造装置(252億円→39億円、同▲84.4%)は、EU(149億円→4億円、同▲97.5%)及びシンガポール(24億円→7千万円、同▲97.1%)からが減少し、2か月ぶりのマイナスとなった。

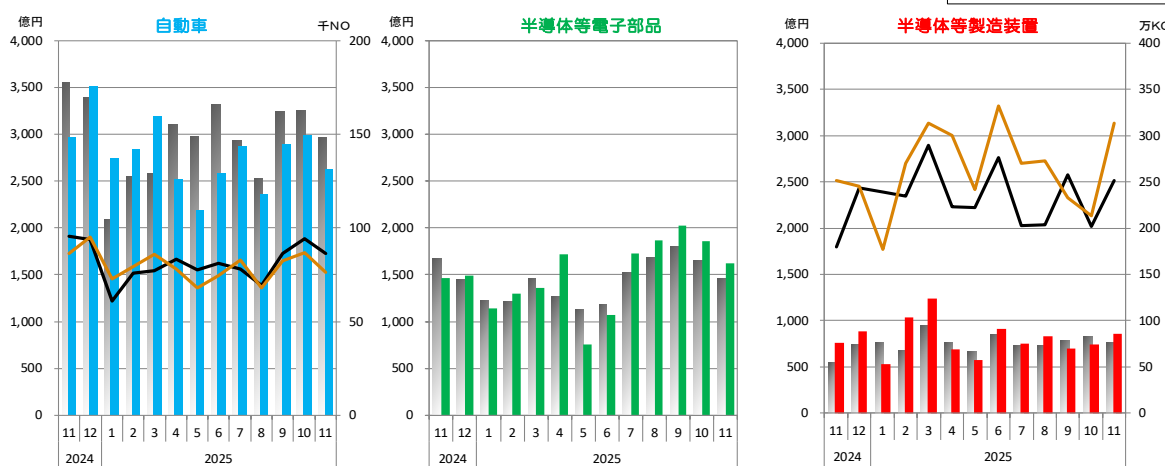
一方、原粗油(122万KL→234万KL、同+92.8%、905億円→1,620億円、同+78.9%)は、サウジアラビア(41万KL→114万KL、同2.8倍、303億円→783億円、同2.6倍)及びアメリカ(実績なし→33万KL、実績なし→244億円)からが増加し、5か月ぶりのプラスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

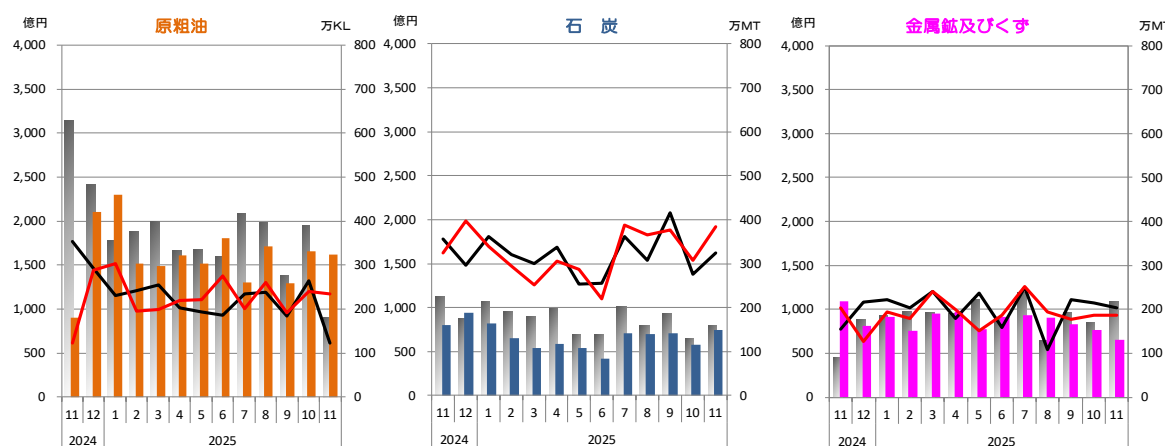
令和7年11月分：速報



九州圏の輸出主要品目推移



九州圏の輸入主要品目推移



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。